

みんなが主役！協働のまちづくり

市民活動支援センターからのお知らせ

市民活動支援センターは、協働のまちづくりを推進するための拠点施設として開設され、施設を利用して市民活動を行う団体なども年々増えています。今回は他自治体の登録団体との交流会や市主催の講演会の子についてお知らせします。



市民活動支援センターは、市民が行う公益的な活動を支援しています。支援の内容としては、地域における活動や市民活動支援センターに登録している団体の取り組みに関する情報の発信、会議スペースや機材の貸し出しなどを行っています。これらのほかにも、登録している団体や市民との交流を図ることを目的とした交流事業を実施したり、市と合意を結んで環境美化を行っている団体に活動の支援を行うなど、市民活動を支援しています。また、まちづくりの担い手づくりを目的とした講演会や市民講座を開催し、人材の育成にも励んでいます。



他自治体の市民活動団体と交流会が行われました。

「小山区定住自立圏共生ビジョン」により、結城市・小山市・下野市・野木町の4市町による市民活動団体の交流会が、10月26日に野木町ボランティア支援センター「きらり館」で行われました。

結城市からは、市民活動支援センターに登録している「わらしべの会」が参加しました。「わらしべの会」は地域に伝わる民話などを、独自の表現方法で工夫した紙芝居で語り、地域文化の伝承を目的に活動を行っている団体です。交流会では各団体の発表の後に相互交流が行われました。

今回参加した「わらしべの会」の浅野代表からは、「自治体間を越えた市民活動を見聞し、新たなつながりができたことで、自身の活動に大きなプラスになりました」との感想がありました。



わらしべの会 浅野代表



参加団体による集合写真



観光イベントで啓発活動を行いました。

市民活動支援センターでは、10月27日・28日に行われた「祭りゆうき2018」の会場において、来場者を対象に協働のまちづくりの啓発や、男女共同参画の一環として、女性に対する暴力根絶を目的としたパブリックイベントを行いました。

また会場内には、地域コミュニティの発展もあり、「城南コミュニティ運営委員会」が、無料の休憩所を設置していました。無料休憩所ではパソコンや釣り道具などを行い、多くの子どもたちが楽しんでいました。



市民活動支援センターの啓発活動



城南コミュニティ運営委員会の活動の様子



協働のまちづくり講演会が行われました。

11月7日、市民情報センター3階多目的ホールにて、「担い手の育成〜まちづくりの担い手をどうつくるか〜」をテーマに、廣瀬隆人さんによる講演会が行われました。廣瀬さんは、成人教育学を基礎としてボランティア・NPO・まちづくりなどに精通し、ユーモアあふれる講演を行うことで有名な方です。

「まちづくりとは、住民が自分たちで考えて行動すること、すなわち主体形成が大切なことであり、これは、自身がまちづくりの“担い手”になるといふことである。なりゆき任せの客体から、自ら歴史をつくる主体になることが大切である。人はなぜ学ぶのか、それは幸せになるためです」と、たいへん考えさせられる内容でした。

参加者からは、「市民活動と地域活動の違いがわかりました」「人任せでは現状は変わらない。市民が核となって動くことが大切だと実感しました」などの感想が述べられました。

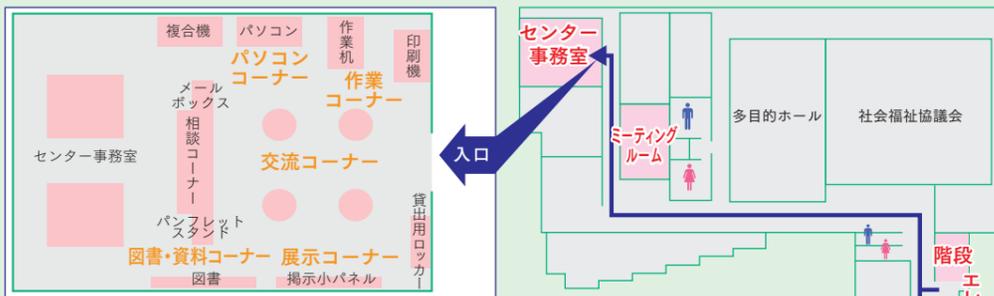


講師の廣瀬隆人さん



講演会の様子

市民活動を考えている方は、ぜひ市民活動支援センターをご利用ください！



問合先 市民活動支援センター
市役所駅前分庁舎(しるくろーど3階)
☎54-7008 Fax 54-7009



Eメール



◆開館時間
午前9時～午後5時
◆休館日
日曜日、祝日、年末年始